

# Chapter

# 5

**単語・熟語数：148**

## 文法のテーマ：文型（2）

この Chapter では、動詞の後ろに「2つの要素」がある以下の文型について学習します。

- 【第3文型】 主語(S) + 動詞(V) + 目的語(O) + 前置詞句
- 【第4文型】 主語(S) + 動詞(V) + 目的語(O') + 目的語(O)
- 【第5文型】 主語(S) + 動詞(V) + 目的語(O) + 補語(C)



### ③ Pat, I bought this ring for you. Won't you wear it?

Vt O 前置詞句

⇒ Pat・僕は買った・この指輪を・君のために。してくれないか?・君は・身につけることを・それを。

→ Pat, この指輪を君に買ったんだ。はめてみてくれないか?

このように、「for…」と結びつく動詞には次のようなものがあります。

|                            |                 |              |
|----------------------------|-----------------|--------------|
| buy (買ってやる)                | bring (もってきてやる) | call (呼んでやる) |
| choose (選んでやる)             | find (見つけてやる)   | make (作ってやる) |
| get (手に入れて [買って、もってきて] やる) |                 |              |

(注) bring は「どこへ」かを言う場合は to を、「誰のため」かを言う場合は for をとります。

#### ●● VOCABULARY

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> <b>explain</b> [ikspleɪn]    | <b>動</b> (…を) 説明する ( <b>名</b> explanation 説明)  |
| <input type="checkbox"/> <b>procedure</b> [prəsi:dʒə] | <b>名</b> 手続き、手順、治療 [手術] の手順  |
| <input type="checkbox"/> <b>patient</b> [peɪʃənt]     | <b>名</b> 患者 <b>形</b> 我慢強い  |
| <input type="checkbox"/> <b>Won't you Vb?</b>         | <b>慣</b> Vしてくれませんか? ; Vしませんか?  |
| <input type="checkbox"/> <b>wear</b> [weə]            | <b>動</b> <服・靴・装飾品・髪型> を身に付けている<br>(*状態を表す。「…を身に着ける」という動作を表すのは put ... on (Lesson40 ①)) |

# Lesson 42

## 👉 第4文型 (S + V + O' + O) (1)

send (送る) という動詞は「何を」送るのかを言わないと意味的に不完全なので、次のように、「何を」に当たる**目的語**を置いて他動詞として用います。

### ① I sent an e-mail by mistake.

Vt                      O

⇒ 私は送った・メールを・誤って。

→ 間違っ**て**メールを送ってしまった。

さらに、この文に「誰に」送るのかという情報を付け加えたい場合は、前のレッスンで学習したように、前置詞句「to…」を付け足します。

### ② I sent an e-mail to you by mistake.

Vt                      O      前置詞句

⇒ 私は送った・メールを・あなたに・誤って。

→ 間違っ**て**メールを君に送ってしまった。

こうして「誰に」送るのが言えました。しかし、send はまた、「誰に」に当たることばを「**動詞と目的語の間**」に置いて、次のように言うこともできます。

### ③ I sent you an e-mail by mistake.

Vt                      O

⇒ 私は送った・あなたに・メールを・誤って。

→ 間違っ**て**君にメールを送ってしまった。

この「…に」に当たる名詞や代名詞を「**間接目的語 (O')**」と呼び、間接目的語がある場合の目的語 (O) を「**直接目的語**」と呼びます。この文型は、**間接目的語**を「…に」と訳し、**直接目的語**を「…を」と訳せば意味が上手く通ります。

|        |   |          |   |            |   |           |
|--------|---|----------|---|------------|---|-----------|
| 主語 (S) | + | 他動詞 (Vt) | + | 間接目的語 (O') | + | 直接目的語 (O) |
|        |   |          |   | 「…に」       |   | 「…を」      |

この「他動詞 (Vt) + 間接目的語 (O') + 直接目的語 (O)」を「第4文型」と呼びます。第4文型で用いることができる動詞は、Lesson 41 の2つの表に掲載されていた動詞です (但し、最初の表の explain は第4文型で使わないネイティブもいます)。

Lesson 41 の「1 番目の表」に属する動詞の第4文型をさらに見てみましょう。

④ I'll show you the way. I'm going in the same direction.

Vt O' O

⇒ 私は示します・あなたに・道順を。私は今進んでいるところだ・同じ方向に。  
→ 道案内しましょう。私も同じ方向に行くところですから。

⑤ "Will you pass me the remote for the TV?" "Here you go."

Vt O' O

⇒ 「してくれる?・君は・渡すことを・僕に・リモコンを・テレビの」「はい・どうぞ」  
→ 「テレビのリモコンを取ってくれる?」「はいどうぞ」

⑥ Can you lend me your notebook until tomorrow?

Vt O' O

⇒ できますか?・君は・貸すことが・僕に・君のノートを・明日までずっと。  
→ 君のノート、明日まで貸してもらえるかい?

⑦ Haven't I been telling you this for quite a while?

Vt O' O

⇒ 私は言い続けてきませんでしたか?・あなたに・このことを・かなり長い間。  
→ 私、ずっと前からあなたにこのことを言い続けてこなかった?

\* I haven't been telling ... の下線部を文頭に出した現在完了進行形の疑問文です。

Ch.  
5

●● VOCABULARY

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> e-mail / email [i:mèil]           | [名] 電子メール [動] (…に) ~をメールで送る                            |
| <input type="checkbox"/> by mistake [mistéik]              | [副] 誤って、間違えて   |
| <input type="checkbox"/> the way                           | [名] 進む向き、経路、道順   |
| <input type="checkbox"/> in ... direction [dìrɛkʃən, dai-] | [副] …の方向[方角]に (*前置詞 (in) に注意)                          |
| <input type="checkbox"/> Will you Vb?                      | [慣] Vしてくれますか?; Vしてもらえますか?                              |
| <input type="checkbox"/> remote [rimóut]                   | [名] リモコン (* remote control の略語)                        |
| <input type="checkbox"/> Here you go.                      | [慣] はい[さあ]どうぞ。(回 Here you are.<br>*手渡したり差し出したりする際のことば) |
| <input type="checkbox"/> notebook [nóutbùk]                | [名] ノート、手帳 ([名] note メモ、覚え書き)                          |
| <input type="checkbox"/> quite a while [kwáil   wáil]      | [名] かなりの時間 ([名] a while しばらくの間)                        |

# Lesson 43

## 👍 第4文型 (S + V + O' + O) (2)

前のレッスンに続き、Lesson 41 の「2 番目の表」に属する動詞の第4文型を見てください。

### ① "Mommy, please get me this!"

Vt O' O

### "No, I won't buy you any more baseball cards."

Vt O' O

⇒ 「ママ・どうか手に入れて(=買って)! ・僕に・これを」「いいえ・私は買わない・あなたに・いかなるこれ以上の野球カードも」

→ 「ママ、お願いだから、これ買って」「だめ。これ以上、野球カードは買いません」

### ② Will you get me a couple of plates from the cupboard?

Vt O' O

⇒ してくれますか? ・君は・持ってくることを・私に・2つの皿を・食器棚から。

→ 食器棚からお皿を2枚持ってきてくれる?

\* この get は bring に置き換えが可能です。get の方がくだけたことばです。

### ③ Cindy made Mike a dinosaur costume for Halloween.

Vt O' O

⇒ Cindy は作った ・Mike に ・恐竜の衣装を ・ハロウィーンのための。

→ Cindy は Mike にハロウィーンで着るための恐竜の衣装を作った。

次のレッスンでは、Lesson 41 の2つの表とは異なるタイプの「第4文型の動詞」を取り上げます。

### ●● NOTE 「第3文型+前置詞句」と「第4文型」の違い

Lesson 41 の2つの表に属する動詞は「第3文型 (S + V + O) + 前置詞句」と「第4文型 (S + V + O' + O)」の両方で表すことができますが、両者の意味は完全に同じではありません。Lesson 42 の②と③を使って比較してみます。

I sent an e-mail to you by mistake. (間違ってメールを「君に」送った)

I sent you an e-mail by mistake. (間違って君に「メールを」送った)

1番目の文はyouに意味の焦点があり、2番目の文はan e-mailに焦点があります。つまり、1番目の文は、メールを「誰に」送ったかが重要な情報であり、2番目は、君に「何を」送ったかが重要な情報です。整理すると次のようになります。

|           |       | 意味の焦点        |  |
|-----------|-------|--------------|--|
| 第3文型+前置詞句 | Vt O  | to / for ... |  |
| 第4文型      | Vt O' | O            |  |

表の「第3文型+前置詞句」の「O」と、「第4文型」の「O'」には、「聞き手にとって既知の[推測可能な]情報」を置き、意味の焦点である「…」と「O」には「聞き手にとって未知の[推測不可能な]情報」を置くのが一般的です。第4文型の「O'」には代名詞(me, us, you, him, her, themなど)を置くことが多いのですが、これは、代名詞が「既知の情報」だからです。

●● VOCABULARY

- mommy** [mámi | mǒ-]
 名 ((米)) ママ (同 ((英)) **mummy**)  
\* mom, mumと同じく口語だが、特に幼い子供が用いる)
- get**
動 …を手に入れる、…に～を手に入れて[買って]やる、…に～をもってくる
- I won't Vb.** [wóunt]
 慣 私はVするつもりはない。
- buy**
動 …を買う、…に～を買ってやる
- any more** …
 名 いかなるこれ[それ]以上の…(も)
- a couple of** [káppl]
 形 (同種の) 2つの、((米)) 少数の
- plate** [pléit]
 名 (食器の) 平皿、浅皿、(金属の) 平板
- cupboard** [kábǽrd]
 名 食器棚、戸棚 (\* pは発音しない)
- make**
動 …を作る、…に～を作ってやる
- dinosaur** [dáinǽsǽ:r]
 名 恐竜
- costume** [kástju:m | kóstju:m]
 名 (特定の活動用の) 衣装、コスチューム

# Lesson 44

## 👉 第4文型 (3)

次の4つの動詞は Lesson 41 の2つの表には属さない動詞で、通常「第3文型+前置詞句」では使いません。しかし、第4文型ではよく用いられます。

|                     |                            |
|---------------------|----------------------------|
| ask (O' に O を尋ねる)   | cost (O' に O を負担させる)       |
| take (O' に O を取らせる) | wish (O' に O がもたらされることを願う) |

(注) ask は ask a favor of … (…に頼み事をする) と ask a question of … (…に質問をする) の表現では「第3文型+前置詞句」で用いますが、どちらも堅い表現であり用いられません。

(注) cost は O に「お金」を、take は O に「時間・手間」を置きます。

ask、cost、take の第4文型を見てみましょう。

### ① The interviewer asked Bob tough questions about his past.

Vt   O'   O

⇒ 面接担当者は尋ねた・Bob に・厳しい質問を・彼の過去についての。

➔ 面接担当者は Bob に彼の過去について厳しい質問をした。

### ② These cost me \$12 each, so you owe me \$48 in total.

Vt   O'   O   Vt   O'   O

⇒ これらは負担させた・私に・12ドルを・それぞれ・だから・あなたは負っている・私に・48ドルを・合計で。

➔ 1つにつき12ドルかかったので、合計で48ドル払ってください。

\* cost は過去形です。

\* owe も第4文型です (第3文型では「owe O to …」になります)。

### ③ The hike took us nearly five hours as a round trip.

Vt   O'   O

⇒ ハイキングは取らせた・私達に・ほぼ5時間を・往復として。

➔ ハイキングは往復でほぼ5時間かかりました。

wish は第4文型の動詞に共通する「O' に O を…する」という和訳が当てはまりません。wish は次のように、「I wish + you + 名詞」の形で、手紙やメールなどの締めくくりの言葉 [挨拶] としてよく用いられます。



④ I wish you every success in your new job.

Vt O' O

⇒ 私は(もたらされるのを)願っています・あなたに・あらゆる成功が・あなたの新しい仕事の中で。

→ 新しいお仕事でのご成功をお祈りしています。

●● VOCABULARY

interviewer

[intərvju:ər]

面接官、面接担当者、インタビューー

( interview [intərvju:] …を面接する)

tough [tʌf]

厳しい、つらい

past [pæst | pɑ:st]

((one's past で)) (人の) 過去、((the past で))

(現在以前の) 過去  過去の

cost [kɔ:st | kɒst]

…を負担させる、…に～を負担させる

each [i:tʃ]

各々、それぞれ、一つ [一人] につき  各々 [それぞれ] の

owe [əu]

<借り>を負っている [を支払う義務がある]、  
…に～を負っている [支払う義務がある]

in total [tɔ:tl]

合計で

hike [haik]

(野山などの) ハイキング、引き上げ、値上げ

take

<時間・手間>がかかる、<人>に<時間・  
手間>を取らせる [必要とさせる]

nearly [niəli]

ほぼ、…近く、あと少しで ( almost)

as

…として、…としての

round trip [raʊnd tri:p]

往復、周遊  ((米) 往復で ( round-trip  
往復の))

wish

(～を) 願う、…に～(がもたらされること)を  
願う (\*第4文型の目的語には success, luck  
(幸運)、happiness などが置かれる)

success [səksəs]

成功、出世、成功した物 [人] ( successful  
成功した  succeed [səkseɪd] 成功する)

# Lesson 45

## 👉 第5文型 (S+V+O+C): 補語が形容詞/名詞 (1)

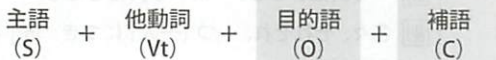
次の例文は「第4文型」です。2つの目的語の関係に注目すると、Mike (人) と costume (物) は全く別の存在であり、両者はイコールではありません。

### ① Cindy made Mike a dinosaur costume for Halloween.



→ Cindy は Mike にハロウィーンで着るための恐竜の衣装を作った。(Lesson 43 ③)

「第4文型」は、動詞の後ろに2つの要素(名詞か代名詞)があって、両者の間にイコールの関係が成立しません。これに対し、動詞の後ろに2つの要素があって、その間に「イコール」もしくは「主語と述語」の関係が成立する文があります。



イコールもしくは主語と述語の関係

これを「第5文型」(S+V+O+C)と呼びます。次の例文は「第5文型」です。make には「OをCにさせる」という第5文型の用法があります。「it (それ) = cheaper (より安い)」という関係が成立している点に注意してください。

### ② I can't afford that. Can you make it cheaper?

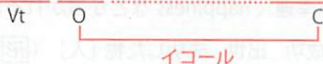


⇒ 私はできない・買う余裕を持つことが・それを。できますか?・あなたは・させることが・それを・より安い(値段に)。

→ そんなにお金がないのです。少しまけてもらえますか?

次も「第5文型」です。「you (君) = person (人)」が成立しています。

### ③ I'll make you the happiest person alive.



⇒ 僕はするつもりだ・君を・最も幸せな人に・生きている(中での)。

→ 僕が君をこの世で一番幸せにするよ。

\* alive は形容詞で person を修飾。

第5文型の補語には「形容詞」(例文②)か「名詞」(例文③)を置きます(「副詞」は置けません)。これは、第2文型(主語+動詞+補語)の「補語」に「形容詞」か「名詞」を置く(そして副詞を置かない)のと同じです(Lesson 32)。

|           |   |             |   |                    |   |           |
|-----------|---|-------------|---|--------------------|---|-----------|
| 主語<br>(S) | + | 他動詞<br>(Vt) | + | 目的語<br>(O)         | + | 補語<br>(C) |
|           |   |             |   | ↑                  |   | ↑         |
|           |   |             |   | 名詞<br>代名詞<br>(目的格) |   | 形容詞<br>名詞 |

それから、目的語と補語の間に「主語と述語」の関係が成立する場合もあり、その場合は、補語は次の動詞の(変化)形になります(詳細は Lesson 47 以降で説明)。

|           |   |             |   |                    |   |                                      |
|-----------|---|-------------|---|--------------------|---|--------------------------------------|
| 主語<br>(S) | + | 他動詞<br>(Vt) | + | 目的語<br>(O)         | + | 補語<br>(C)                            |
|           |   |             |   | ↑                  |   | ↑                                    |
|           |   |             |   | 名詞<br>代名詞<br>(目的格) |   | 動詞の ing 形<br>過去分詞<br>to 不定詞<br>動詞の原形 |

(注)「to 不定詞」とは「to 動詞の原形」のことです。

## ●● VOCABULARY

- can afford** [əfɔ:rd] **價** …を負担する余裕がある、…を買う[支払う]余裕がある (**價 can afford to Vb** Vする余裕がある \*通常、can, could, be able to と共に否定文か疑問文で用いる)
- cheap** [tʃi:p] **形** 安価な (**反 expensive** [ɪkspensɪv] 高価な \*例文②の cheaper は比較級)
- person** [pɜ:nsn] **名** 人、人間、人物
- alive** [əlaɪv] **形** 生きている、この世にいる (\*補語(Lesson 111 ①)か修飾する名詞の「後ろ」で用いる)

# Lesson 46

## 👉 第5文型：補語が形容詞 / 名詞 (2)

前のレッスンで、「第5文型」は動詞の後ろの2つの要素に「イコール」の関係が成立し、補語には「形容詞」か「名詞」を置くことを学びました。このことを、call (…を〜と呼ぶ) と keep (…を〜に保つ) の第5文型で確認しましょう。

### ① By the way, my name is Nicholas. Please call me Nick.

Vt    O    C  
           └─┬─┘  
           イコール

⇒ ところで・私の名前は Nicholas です。どうぞ呼んでください・私を・Nick と。

➔ ところで、私の名前は Nicholas です。Nick と呼んでください。

\* 補語 (C) は名詞です。Nick は Nicholas の愛称です。

### ② I think I'll go to bed early. I can hardly keep my eyes open.

Vt    O    C  
           └─┬─┘  
           イコール

⇒ 私は思う・私は行こうと・ベッドへ・早く。私はほとんど保てない・自分の目が・開いている (状態に)。

➔ 今日は早く寝ようと思う。眠くて目を開けてられないんだ。

\* 補語の open は形容詞です。2番目の文は第2文型の stay (Lesson 34 の表) を用い、I can hardly stay awake. と言うこともできます。

第5文型で用いることができ、補語に「形容詞」か「名詞」をとる動詞には、次のようなものがあります。

|            | 補語 (C)   | 意味              |
|------------|----------|-----------------|
| make + O + | 形容詞 / 名詞 | O を C にさせる [する] |
| get + O +  | 形容詞      | O を C にさせる [する] |
| call + O + | 名詞       | O を C と呼ぶ [見なす] |
| name + O + | 名詞       | O を C と名づける     |

|       |       |          |                  |
|-------|-------|----------|------------------|
| keep  | + O + | 形容詞 / 名詞 | O を C にしておく      |
| leave | + O + | 形容詞      | O を C にして放置する    |
| find  | + O + | 形容詞 / 名詞 | O が C だとわかる [思う] |

(注) 補語に形容詞をとる場合、make と get は同じ意味ですが、getの方がくだけた言い方です。第5文型のgetの補語でよく用いられる形容詞は、第2文型のgetの補語でよく用いられる形容詞(例えば、ready、angry、excited)と同じです。

例文で確認しましょう。(nameの例はLesson 60④を参照)

③ Hopefully I can get everything ready by the end of the month.

Vt O C

⇒ 願うのは・私がさせられることだ・全てが・準備できた(状態に)・終わりまでに・月の。

→ 月末までに全ての準備が整えばいいのですが。

\* ready は get と相性が良いので、この文では make より get の方が自然です。

④ Just leave me alone for a minute. I'm exhausted.

Vt O C

⇒ ただ・放っておいて・私を・一人でいる(状態で)・少しの間。私は疲れ果てている。

→ 少し一人にしておいて。くたくたなのよ。

⑤ "How do you like your new chair?" "I find it quite comfortable."

Vt O C

⇒ 「どのように・あなたは気に入っていますか? ・あなたの新しい椅子を」「私はわかっています・それが・かなり快適だと」

→ 「新しい椅子(の座り心地)はどう?」「かなり快適だよ」

●● VOCABULARY

by the way

副 ところで、ついでながら

go to bed

動 ベッドに就く、布団に入る

early [ˈɔ:li]

副 早く、早めに 形 早い、早期の

hardly [ˈhɑ:rdli]

副 ((程度を表し)) ほとんど…ない (同 scarcely

[ˈskɛərsli], barely [ˈbeəli])

- |  |  |  |
|--|--|--|
| <input type="checkbox"/> <b>open</b>                     |  | <b>形</b> 開いている ( <b>反 closed</b> 閉じ(られ)た )                       |
|  |  | <b>動</b> …を開く、開く   |
| <input type="checkbox"/> <b>hopefully</b> [hóupfəli]     |  | <b>副</b> ((文を修飾して)) 願わくば～、できれば～                                  |
| <input type="checkbox"/> <b>get ... ready</b> [rédi]     |  | <b>動</b> …の準備を整える ( <b>動 get ready</b> 準備する )                    |
| <input type="checkbox"/> <b>by</b>                       |  | <b>前</b> …までに ( * 「期限」を表す。until 及び till は「…までずっと」という意味で「継続」を表す ) |
| <input type="checkbox"/> <b>leave ... alone</b> [ə'lóun] |  | <b>動</b> …を一人にしておく、…をそっとしておく                                     |
| <input type="checkbox"/> <b>for a minute</b> [mínit]     |  | <b>副</b> 少しの間 ( <b>同 for a moment, for a second</b> )            |
| <input type="checkbox"/> <b>exhausted</b> [igzɔ:stid]    |  | <b>形</b> 疲れ果てている、くたくただ ( <b>動 exhaust</b> …を疲れ果てさせる )            |
| <input type="checkbox"/> <b>How do you like ...?</b>     |  | <b>慣</b> …を気に入っていますか? ; …はあなたの好みに合っていますか?                        |
| <input type="checkbox"/> <b>find</b>                     |  | <b>動</b> …が～であるとわかる [わかつている、思う、感じる] ( * 経験してわかったことを述べる )         |
| <input type="checkbox"/> <b>quite</b> [kwáit]            |  | <b>副</b> まったく、とても  |
| <input type="checkbox"/> <b>comfortable</b> [kámfərtəbl] |  | <b>形</b> 快適な、心地よい  |

## 例文に登場する主なキャラクター ( 1 2 )



### Nick (Nicholas)

敏腕経営コンサルタント。  
Bill から Evans 社の CEO  
に任命され、同社の再建に  
成功する。

# Lesson 47

## 👉 第5文型：補語が Ving と Vp.p. (1)

Lesson 45 と 46 では、目的語と補語の間に「イコール」の関係が成立し、補語に「形容詞」か「名詞」が置かれる第5文型を学習しましたが、ここからは、目的語と補語の間に「主語と述語」の関係が成立し、「補語」に「動詞(変化)形」が置かれる第5文型を学習します。まずは、Lesson 45 の表を再確認しましょう。

|           |   |             |   |              |   |                  |
|-----------|---|-------------|---|--------------|---|------------------|
| 主語<br>(S) | + | 他動詞<br>(Vt) | + | 目的語<br>(O)   | + | 補語<br>(C)        |
|           |   |             |   | ↑            |   | ↑                |
|           |   |             |   | 名詞           |   | Ving (Vしている)     |
|           |   |             |   | 代名詞<br>(目的格) |   | Vp.p. (Vされ(てい)る) |
|           |   |             |   |              |   | to Vb (Vする)      |
|           |   |             |   |              |   | Vb (Vする)         |

(注) Ving は「動詞のing形」、Vp.p. は「過去分詞」、to Vb は「to 動詞の原形」、Vb は「(to のない) 動詞の原形」です。

このレッスンでは、補語に **Ving** (Vしている) と **Vp.p.** (Vされている、Vされる) が置かれるケースについて学習します。補語に Ving と Vp.p. の両方をとる動詞には次のようなものがあります。次の頁の例文と共に確認してください。

|             | 補語 (C) | 意味                |
|-------------|--------|-------------------|
| keep + O +  | Ving   | O が V している状態に保つ   |
|             | Vp.p.  | O が V された状態に保つ    |
| leave + O + | Ving   | O が V している状態で放置する |
|             | Vp.p.  | O が V された状態で放置する  |
| get + O +   | Ving   | O が V している状態にする   |
|             | Vp.p.  | O が V された状態にする    |
| have + O +  | Ving   | O が V している状態にある   |
|             | Vp.p.  | O が V された状態にしてもらう |

|       |       |       |                            |
|-------|-------|-------|----------------------------|
| hear  | + O + | Ving  | O が V しているのを耳にする           |
|       |       | Vp.p. | O が V されるのを耳にする            |
| see   | + O + | Ving  | O が V しているのを目にする           |
|       |       | Vp.p. | O が V されるのを目にする ((まれな用法))  |
| watch | + O + | Ving  | O が V しているのをじっと見る          |
|       |       | Vp.p. | O が V されるのをじっと見る ((まれな用法)) |
| feel  | + O + | Ving  | O が V しているを感じる             |
|       |       | Vp.p. | O が V されるを感じる ((まれな用法))    |

最初の4つの動詞 (keep, leave, get, have) の例文を見てみましょう。

① **Sorry I kept you waiting so long.**



⇒ 申し訳ない・私はし続けた・あなたを・待っている(状態に)・とても長く。

→ ごめん、長いこと待たせちゃって。

\* I'm sorry that I kept you waiting... の下線部が省略されています。keep は Ving と相性が良く、keep+Ving (Lesson 34) とこの keep+O+Ving でよく用います。

② **Keep the garage window closed and locked.**



⇒ しておきなさい・ガレージの窓が・閉じられた(状態に)・そして・かぎが掛けられた(状態に)。

→ ガレージの窓はきちんと閉めて、かぎを掛けておいてね。

③ **Mike, don't leave sharp tools lying around.**



⇒ Mike・放置しないで・先の尖った道具が・横たわっている(状態で)・辺りに。

→ Mike、先の尖った道具をその辺に置きっぱなしにしちゃだめだ。



④ Can you get this old photocopier working again?

Vt                    O                    C  
                         主語                    述語

- ⇒ できますか?・あなたは・させることが・この古いコピー機が・作動している(状態に)・再び。
- この古いコピー機を元通りに動かすことはできますか?

⑤ We must get this project completed on time.

Vt                    O                    C  
                         主語                    述語

- ⇒ 私達はさせなければならない・このプロジェクトが・完了された(状態に)・期日通りに。
- 私達はこのプロジェクトを期日通りに完了しなくてはならない。

⑥ They have orders coming in from all over the country.

Vt                    O                    C  
                         主語                    述語

- ⇒ 彼らは持っている・注文が・入って来ている状況を・の至る所から・その国。
- 彼らの元には全国から注文がある。

⑦ We're having pizza delivered for dinner tonight.

Vt                    O                    C  
                         主語                    述語

- ⇒ 私達はしてもらうことになっている・ピザが・配達されるように・夕食に・今晚。
- 今晚の夕食は宅配のピザよ。
- \* 現在進行形 We're having は近い未来の予定を表しています (Lesson 23)。

次は、hear、see、watch、feel (「知覚動詞」と呼びます) の使い方を確認します。

●● VOCABULARY

- so**    副 とても、そんなに、こんなに
- long**    副 長い間    形 長い (\*例文①では副詞)
- garage** [gə'reɪ:dʒ | gɑ'reɪ:dʒ]                    名 ガレージ、車庫、車の修理工場

- close** [kləʊz] **動** …を閉じる、…を閉める (同 **shut**)
- lock** [lɒk | lɒk] **動** …に錠を下ろす、…にかぎを掛ける  
**名** (ドア) ロック、錠
- sharp** [ʃɑ:p] **形** 鋭い、先の尖った、急激な
- tool** [tu:l] **名** 道具、工具、用具、手段
- lie** [lai] **動** 横たわる、ある、嘘をつく (\* ing 形は lying)
- around** **副** 周囲に、辺りに、あちこちに **前** …の周囲に、…のあちこちに
- photocopier** [fəʊtəkəpiər | -kɒp-] **名** コピー機 (同 **copier**; **copy(ing) machine** [kəpiɪŋ məʃi:n | kɒp-])
- work** [wɜ:k] **動** 正常に機能 [動作、稼働] する
- complete** [kəmpli:t] **動** …を完了 [完成、完結、修了] する  
**形** 完全な、完成 [完結] した
- on time** **副** 時間通りに、期日通りに
- order** [ɔ:rdə] **名** 注文、命令、順序 **動** …を注文する、…を命じる
- from all over** … **副** …のあらゆる [至る] 所から
- deliver** [dɪlɪvə] **動** …を配達する、…を届ける (名 **delivery** 配達、配送)

# Lesson 48

## 👉 第5文型 : 補語が Ving と Vp.p. (2)

知覚動詞 (hear, see, watch, feel) は第5文型で補語に Ving と Vp.p. の両方をとります。Vingの方がVp.p.よりはるかによく用いられるので、Vingを中心に例を見てみます。OとCの間に主語と述語の関係が成立する点に注意しましょう。

### ① Neighbors often heard them quarreling.

Vt      O      C

⇒ 近所の人達はしばしば耳にした・彼らが・口論しているのを。

→ 近所の人達は彼らの口論を度々耳にしていた。

### ② Suddenly, Joe heard his name called from behind.

Vt      O      C

⇒ 突然・Joeは耳にした・彼の名前が・呼ばれるのを・背後から。

→ 突然、Joeは背後から自分の名前が呼ばれるのを耳にした。

\* calledは過去形ではなく過去分詞です(過去形は補語に置けません)。

### ③ He turned around and saw Bob and Kate waving at him.

Vt      O      C

⇒ 彼は向きを変えた・くるりと・そして・目にした・BobとKateが・手を振っているのを・彼をめがけて。

→ 彼が振り返ると、BobとKateが手を振ってるのが見えた。

### ④ I felt someone placing a blanket on me.

Vt      O      C

⇒ 私は感じた・誰かが・置こうとしているのを・毛布を・私の上に。

→ 誰かが私に毛布をかけようとしているのを感じた。

\* 動詞 placeは瞬間的に完了する動作を表すので進行形の placingは「(既に) 置いている」ではなく「置こうとしている」になります(Lesson 23)。

### ●● NOTE 知覚動詞の補語が「being + Vp.p.」になる場合

第5文型で用いる知覚動詞 (hear, see, watch, feel) の補語を「…される」という意味にする場合は「過去分詞」を用いますが、「…されている」という意味にする場合は「being + 過去分詞」にします。例えば、②の Joe heard his name called.

(Joeは自分の名前が呼ばれるのを耳にした)を、「Joeは自分の名前が呼ばれているのを耳にした」にする場合は Joe heard his name being called. とします。「**過去分詞**」は瞬間的[短時間]で終わる行為や出来事の「**一部始終**」を表し、「**being + 過去分詞**」はしばらく続く行為や出来事の「**一部だけ**」を表します。つまり、called は名前が「一度呼ばれる」のを聞いたことになり、being called は「名前が何回か呼ばれる」のを聞いたことになります。もう一つ例を見てみましょう。

⑤ I saw a new park being built next to the city hall.

Vt                      O                      C

⇒ 私は目にした・新しい公園が・造られているのを・の隣に・市役所。

→ 新しい公園が市役所の隣に造られているのを見かけたよ。

この例文で補語(C)を built (造られる)にすると、「公園が造られるのを目にした」になり、その過程の「**一部始終**」を見たことになるので不適切です。being built (造られている)にすれば、その過程の「**一部だけ**」を見たことになります。

●● VOCABULARY

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> neighbor [neɪbər] | <input type="checkbox"/> 隣人、近所の人 ( <input type="checkbox"/> neighborhood [neɪbərhʊd] 近所、近隣)   |
| <input type="checkbox"/> quarrel [kwɔːrəl] | <input type="checkbox"/> 口論する、言い争う <input type="checkbox"/> 口論、言い争い   |
| <input type="checkbox"/> suddenly [sʌdnli] | <input type="checkbox"/> 突然に、急に ( <input type="checkbox"/> sudden 突然の)  |
| <input type="checkbox"/> from behind       | <input type="checkbox"/> 背後から <input type="checkbox"/> 前 …の背後から (*例文②の from behind は <u>from behind him</u> としてもよい。後者の二重前置詞は R4 ②を参照) |
| <input type="checkbox"/> turn around       | <input type="checkbox"/> 体を反転する、振り向く、くると背を向ける   |
| <input type="checkbox"/> wave [weɪv]       | <input type="checkbox"/> 手を振る、波打つ、<手・旗など>を振る <input type="checkbox"/> 波   |
| <input type="checkbox"/> place [pleɪs]     | <input type="checkbox"/> …を置く、…を設置する <input type="checkbox"/> 場所、立場   |
| <input type="checkbox"/> blanket [blæŋkɪt] | <input type="checkbox"/> 毛布、掛け布団  |
| <input type="checkbox"/> build [bɪld]      | <input type="checkbox"/> <建造物>を建てる、<大規模な物>を造る   |
| <input type="checkbox"/> next to           | <input type="checkbox"/> 前 …の隣に、…の隣の  |
| <input type="checkbox"/> city hall [hɪːl]  | <input type="checkbox"/> 名 市役所、市庁舎  |

# Lesson 49

## 👉 第5文型：補語が to 不定詞（1）

第5文型の「補語」に「**to 動詞の原形**」（「**to 不定詞**」と呼びます）をとる動詞もあります。例えば、tell は「tell + O + to 動詞の原形」の形で「…に～するように指示する」という意味で用います。目的語と補語の間に**主語と述語**の関係が成立していることを確認しながら、次の例文を見てください。

① **Cindy told Mike to bring her a pair of scissors.**



⇨ Cindy は言った・Mike に・持ってくるように・彼女に・一組のはさみを。

→ Cindy は Mike に、はさみを持ってくるようにと言った。

\* bring は第4文型の用法です。

「補語」に「to 動詞の原形」（「to Vb」と表記）をとることができる動詞はたくさんありますが、中でもよく用いられるのが、tell、ask、want の3つです。

|             | 補語 (C)             | 意味                    |
|-------------|--------------------|-----------------------|
| <b>tell</b> | + O + <b>to Vb</b> | O に V するようにと言う [指示する] |
| <b>ask</b>  | + O + <b>to Vb</b> | O に V するように頼む         |
| <b>want</b> | + O + <b>to Vb</b> | O に V してもらいたいと思う      |

ask と want の例を見てみましょう。

② **Pat asked me to say hello to all of you.**



⇨ Pat は頼んだ・私に・言うように・こんにちはを・全員に・あなた達の。

→ Pat が皆さんによろしくって言ってました。

③ **Mike, I don't want you to stay up late.**



⇨ Mike・私は望まない・君が・起きているのを・遅くまで。

→ Mike、夜更かしはしないでほしいんだけど。

tell, ask, want ほどではありませんが、「**would like O to Vb**」(OにVしていた  
 だきたい)や「**need O to Vb**」(OがVするのを必要とする)もよく用いられます。

④ **Mr. Lee, I'd like you to meet my colleague, Patricia Sanchez.**

Vt O C

- ⇒ Lee さん・私は望む・あなたが・会うことを・私の同僚・Patricia Sanchez に。  
 → Lee さん、同僚の Patricia Sanchez を紹介します。

⑤ **Sandy, I need you to do me a favor.**

Vt O C

- ⇒ Sandy・私は必要としている・君が・叶えることを・私に・頼み事を。  
 → Sandy、君に是非とも聞いてもらいたい頼みがあるんだ。

次のレッスンで「S + Vt + O + to 動詞の原形」の例をさらに見ていきます。

●● VOCABULARY

- |   |   |  |
|---|---|--|
| <input type="checkbox"/> <b>bring</b>                   | 動 | …を(自分/相手の所へ)持って[連れて]くる<br>(動 <b>take</b> …を第三者の所へ持って[連れて]行く)               |
| <input type="checkbox"/> <b>a pair of</b> [pɛər]        | 形 | 一組[一对]の(*修飾する名詞は scissors, shoes, pants [trousers] (ズボン), glasses (眼鏡) など) |
| <input type="checkbox"/> <b>scissors</b> [sɪzəz]        | 名 | はさみ  |
| <input type="checkbox"/> <b>say hello to</b> …          | 動 | …に挨拶をする、…によろしくと伝える   |
| <input type="checkbox"/> <b>stay up</b>                 | 動 | 寝ないで起きている (同 <b>sit up</b> )   |
| <input type="checkbox"/> <b>late</b> [leɪt]             | 副 | 遅くに、遅くまで (形 遅い (副 <b>lately</b> 最近))                                       |
| <input type="checkbox"/> <b>would like … to Vb</b>      | 慣 | …にVしてほしい(* would の短縮形は 'd)   |
| <input type="checkbox"/> <b>colleague</b> [kəli:ɡ] kəl- | 名 | 同僚、仕事仲間 (同 <b>co-worker</b> [kəʊwɜ:kəz])                                   |
| <input type="checkbox"/> <b>need … to Vb</b>            | 動 | …がVすることを必要とする  |
| <input type="checkbox"/> <b>do … a favor</b> [feɪvə]    | 動 | …に頼み事を叶えてやる(* do は第4文型)  |

# Lesson 50

## 👉 第5文型：補語が to 不定詞 (2)

次の動詞も「S + V + O + **to** 動詞の原形」の第5文型でよく用いられます。

|                   |                |                 |
|-------------------|----------------|-----------------|
| advise (勧める)      | allow (許可する)   | enable (可能にする)  |
| expect (予想[期待]する) | force (強制する)   | get (させる)       |
| help (助ける)        | order (命じる)    | remind (思い出させる) |
| require (必要とさせる)  | request (要請する) |                 |

いくつか(表の中でより頻繁に使われる語の)例を見てみましょう。

① Bill's doctor advised him to cut down on his drinking.

Vt          O          C

⇒ Billの医者<sup>1</sup>は勧めた・彼に<sup>2</sup>・減らすように<sup>3</sup>・彼の飲酒を。

→ 医者はBillに飲酒の量を減らすよう勧めた。

② Betty only allows Ben to own wooden toys such as this one.

Vt          O          C

⇒ Bettyは許すだけで・Benが<sup>2</sup>・所有するのを<sup>3</sup>・木の玩具を<sup>4</sup>・のような<sup>5</sup>・この玩具。

→ BettyはBenにこのような木製の玩具しか持たせない。

\* onlyは一般動詞の前に置いてnever、rarely、seldomのような否定語と同じ様に使うことができます(Lesson 9④の前の説明を参照)。

\* oneはtoyの代名詞です。

③ Don't expect me to do everything. I'm not a superwoman.

Vt          O          C

⇒ 期待しないで・私が<sup>2</sup>・するのを<sup>3</sup>・全てを。私はスーパーウーマンではない。

→ 私に何でもかんでも期待しないで。スーパーウーマンじゃないんだから。

④ Dad, I can't get this mower to start.

Vt          O          C

⇒ パパ・僕はできない・させることが<sup>3</sup>・この芝刈り機が<sup>4</sup>・始動するように。

→ パパ、この芝刈り機、動かないよ。

⑤ **Sandy reminded Hank to take his medicine.**

Vt                      O                      C

- ⇒ Sandy は思い起こさせた・Hank に・飲むことを・彼の薬を。  
 → Sandy は Hank に薬を飲むのを忘れないようにと言った。

●● VOCABULARY

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> <b>advise ... to Vb</b><br>[ədvaɪz   əd-] | <b>動</b> ...にVするよう勧める [アドバイスする]<br>(*名詞 advice との綴り・発音の違いに注意)      |
| <input type="checkbox"/> <b>cut down on ...</b>                    | <b>動</b> ...を減らす [切り詰める、削減する]                                      |
| <input type="checkbox"/> <b>drinking</b>                           | <b>名</b> 飲酒 ( <b>動</b> drink 酒を飲む)                                 |
| <input type="checkbox"/> <b>allow ... to Vb</b> [əlaʊ]             | <b>動</b> ...がVするのを許す [可能にする]                                       |
| <input type="checkbox"/> <b>own</b> [əʊn]                          | <b>動</b> ...を所有する <b>形</b> 自分自身の                                   |
| <input type="checkbox"/> <b>wooden</b> [wʊdn]                      | <b>形</b> 木の、木製の ( <b>名</b> wood 木、木材)                              |
| <input type="checkbox"/> <b>toy</b> [tɔɪ]                          | <b>名</b> おもちゃ、玩具   |
| <input type="checkbox"/> <b>such as ...</b> [sʌʃ]                  | <b>形</b> ...のような ( <b>同</b> like ...)                              |
| <input type="checkbox"/> <b>... one</b>                            | <b>代</b> ...なもの [人] (* one は既出の名詞を置き換えた単数形の代名詞で、前に修飾語を伴う)          |
| <input type="checkbox"/> <b>expect ... to Vb</b> [ɪkspɛkt]         | <b>動</b> ...がVするのを予想 [期待] する                                       |
| <input type="checkbox"/> <b>superwoman</b><br>[sʊ:pərwʊmən]        | <b>名</b> スーパーウーマン (*仕事、家事、育児など、全てをうまくこなす女性のこと)                     |
| <input type="checkbox"/> <b>get ... to Vb</b>                      | <b>動</b> ...に (なんとか) Vさせる  |
| <input type="checkbox"/> <b>mower</b> [məʊə]                       | <b>名</b> 草刈り機、芝刈り機 ( <b>動</b> mow 草刈りをする、...を刈る)                   |
| <input type="checkbox"/> <b>remind ... to Vb</b><br>[rɪmaɪnd]      | <b>動</b> ...にVすることを思い出させる ( <b>動</b> remind ... of ~ ...に~を思い出させる) |
| <input type="checkbox"/> <b>take</b>                               | <b>動</b> ...を取り入れる、...を摂取する、...を飲む                                 |
| <input type="checkbox"/> <b>medicine</b><br>[médəsn   médsɪn]      | <b>名</b> 薬、医薬、薬剤、医学 ( <b>形</b> medical [médɪkəl] 医学の、医療の)          |



# Lesson 51

## 第5文型：補語の to be が省略される場合

「S + Vt + O + **to** 動詞の原形」が「S + Vt + O + **to be** …」になる場合、「**to be**」が省略されることがあります。この省略には2種類あります。

1つは、consider や find が補語に「**to be** + 形容詞/名詞」をとる場合です。

|                       | 補語 (C)           | 意味             |
|-----------------------|------------------|----------------|
| <b>consider</b> + O + | (to be) 形容詞 / 名詞 | O を…だと見なす [思う] |
| <b>find</b> + O +     | (to be) 形容詞 / 名詞 | O が…だとわかる [思う] |

(注) 一般に、to be を省略しない形はフォーマルな言い方です。

(注) Lesson 46 の表の find は to be が省略された形です。

### ① I consider myself to be a hard worker.

Vt                  O                  C

### I consider myself a hard worker.

Vt                  O                  C

⇒ 私は見なしている・私自身を・勤勉な人だと。

➔ 私は自分を勤勉な人間だと思っています。

### ② We hope you will find our services to be of use.

Vt                  O                  C

### We hope you will find our services of use.

Vt                  O                  C

⇒ 私達は願っている・あなたがわかるのを・我々の諸サービスが・役に立つと。

➔ 私共のサービスが有用であると実感されるのを願っております。

もう1つは、want、would like、need が補語に「**to be** + Vp.p.」をとる場合です。

|                         | 補語 (C)        | 意味               |
|-------------------------|---------------|------------------|
| <b>want</b> + O +       | (to be) Vp.p. | O が V されるようにしたい  |
| <b>would like</b> + O + | (to be) Vp.p. | O が V されるようにしたい  |
| <b>need</b> + O +       | (to be) Vp.p. | O が V されるのを必要とする |

③ "Do you need it fixed now?" "Yes. I want it done right away."

Vt O C Vt O C

- ⇒ 「あなたは必要としていますか? ・それが・修理されるのを・今」「はい・私は望む・それ (=修理されること) が・行われるのを・直ちに」  
 → 「今すぐ修理する必要がありますか?」「ええ、今すぐしてもらいたいわ」

④ "I'd like my hair cut short." "How short would you like it?"

Vt O C

- ⇒ 「私は望む・私の髪が・切られるのを・短く」「どのくらい短いのを・あなたは望みますか? ・それが」  
 → 「髪を短くしたいんです」「どのくらい短くしますか?」  
 \* cut は原形ではなく過去分詞です (不規則動詞の活用は R13 を参照)。

次のレッスンでは、補語が「(to のない) 動詞の原形」の場合を学習します。

●● VOCABULARY

- |   |  |
|---|--|
| <p><input type="checkbox"/> <b>hard worker</b></p>                    | <p><b>名</b> 勤勉な人、努力家 (<b>動</b> <b>work hard</b> 一所懸命に頑張る)</p>  |
| <p><input type="checkbox"/> <b>hope (that) ~</b></p>                  | <p><b>動</b> ~を願う [希望する] (*「~」の内容が未来の場合、例文②のように will を用いるが、We hope you <b>find</b> のように「現在形」にすることも多い)</p>   |
| <p><input type="checkbox"/> <b>service</b> [sɜ:rvɪs]</p>              | <p><b>名</b> サービス、奉仕、兵役、服役</p>  |
| <p><input type="checkbox"/> <b>of use</b> [jʊ:s]</p>                  | <p><b>形</b> 役に立つ (<b>同</b> <b>useful</b> <b>形</b> <b>of great use</b> とても役に立つ <b>of no use</b> 役に立たない)</p> |
| <p><input type="checkbox"/> <b>fix</b> [fɪks]</p>                     | <p><b>動</b> ...を修理する、...を固定する、...を確定する</p>   |
| <p><input type="checkbox"/> <b>right away</b></p>                     | <p><b>副</b> 直ちに、すぐに (<b>同</b> <b>immediately</b> [ɪmɪˈdi:ətli])</p>  |
| <p><input type="checkbox"/> <b>short</b> [ʃɔ:rt]</p>                  | <p><b>副</b> 短く <b>形</b> 短い (* 例文④の1番目は副詞、2番目は形容詞。形容詞と同形の副詞は R9 を参照。 <b>副</b> <b>shortly</b> 間もなく)</p>      |
| <p><input type="checkbox"/> <b>would like ... (to be)</b><br/>形容詞</p> | <p><b>慣</b> ((第5文型)) ...が&lt;形容詞&gt;になるのを望む (* 例文④の2番目の文がこれに該当。「...」が it、to be が省略されて形容詞が short)</p>       |

# Lesson 52

## 👉 第5文型：補語が動詞の原形

第5文型の「補語」に「動詞の原形」をとる動詞もあります。最もよく用いられるのは make です。次の2つの例文で、目的語と補語の間に主語と述語の関係が成立していることを確認してください。

### ① "Does this outfit make me look thin?" "Yes, perhaps."

Vt     O     C  
           └─┬─┘  
           主語 述語

⇒ 「この服はさせますか？・私を・見えるように・やせて」「はい・たぶん」

→ 「この服を着ると、私、やせて見える？」「うん、たぶん」

\* look は第2文型の用法です。

### ② "I think Pat is in love." "What makes you say that?"

Vt     O     C

⇒ 「私は思う・Patは恋をしていると」「何がさせるのか・君に・言うように・それを」

→ 「Patには好きな人がいるんだと思う」「なぜそんなことが言えるんだい？」

\* 例文①②のように make の主語が「無生物」の場合は、「Sが原因でOはVする」という因果関係を表す文になります。

このように、「S + V + O + 動詞の原形 (Vb)」の形で用いることができる動詞には、次のようなものがあります。

|       | 補語 (C)   | 意味              |
|-------|----------|-----------------|
| help  | + O + Vb | OがVするのを助ける      |
| make  | + O + Vb | OにVさせる          |
| have  | + O + Vb | OにVさせる、OにVしてもらう |
| let   | + O + Vb | OにVさせてやる        |
| hear  | + O + Vb | OがVする音[声]を耳にする  |
| see   | + O + Vb | OがVするのを目にする     |
| watch | + O + Vb | OがVするのをじっと見つめる  |
| feel  | + O + Vb | OがVするのを感じる      |

(注) help は補語に「to 動詞の原形」を置くこともできます (Lesson 50 の表)。

help の例を見てください。

③ "Can you help me carry this downstairs?" "No problem."

Vt O C

⇒ 「できますか？・あなたは・助けることが・私が・運ぶのを・これを・階下へ」  
「問題ないです」

→ 「これを下の階に運ぶのを手伝ってもらえますか？」 「いいですよ」

\* help me carry を help me to carry とすることもできます。

●● VOCABULARY

- outfit** [áutfít] 名 衣服、服 (\*可算名詞)
- thin** [0in] 形 薄い、細い、やせている (反 thick 分厚い)
- perhaps** [pərhæps] 副 たぶん、おそらく (同 maybe \*確信の程度を示す副詞は R17 を参照)
- be in love (with ...)** 動 (...に) 恋をしている
- What makes you say that?** 慣 なぜそんなことが言えるのですか？；なぜそう思うのですか？ (同 Why do you think so?)
- carry** [káeri] 動 ...を運ぶ、...を持ち歩く [携帯する]、...を伝える、...を掲載する、...を取り扱う
- downstairs** [dáunstéərz] 副 下の階に 形 下の階の (反 upstairs 上の階に、上の階の) 名 stair (階段の) 段
- No problem.** [prábləm | prób-] 慣 (相手の依頼に対して) いいですよ。(お礼のことばに対して) どういたしまして。

# Lesson 53

## 👉 第5文型：使役動詞

前のレッスンの表で紹介した **make**、**have**、**let** はいずれも「OにVさせる」という意味ですが、これに **get** (Lesson 50の表を参照) を加えた4つを「使役(使)動詞」と呼びます。「使役」とは「<人>が自分ではなく他人を使って事を行わせる」という意味です。使役動詞はそれぞれに意味合いが異なります。次の表で確認しましょう。

|           |                   | 補語(C)        | 意味                 |
|-----------|-------------------|--------------|--------------------|
| 主語<br><人> | <b>make</b> + O + | <b>Vb</b>    | Oに(一方的・強制的に) Vさせる  |
|           | <b>get</b> + O +  | <b>to Vb</b> | Oに(説得・苦勞して) Vさせる   |
|           | <b>have</b> + O + | <b>Vb</b>    | Oに(指示・依頼して) Vさせる   |
|           | <b>let</b> + O +  | <b>Vb</b>    | Oに(放任して、望み通り) Vさせる |

(注) get だけ補語が「to 動詞の原形」になることに注意してください。

**make** は「OがVする状況を作り出す」という意味で、嫌がる〔抵抗する、躊躇する〕相手にそれを一方的・強制的にさせる場合に用います。

### ① Ms. Williams made Joe redo his report.

Vt    O    C

- ⇒ Williamsさんは(強制的に)させた・Joeが・やり直すように・彼の報告書を。  
→ WilliamsさんはJoeに報告書の書き直しをさせた。

**get** は「OをVする行為までもっていく」という意味で、それをさせるのに説得や苦勞が必要な場合に用います。

### ② How did you get her to agree to this?

Vt    O    C

- ⇒ どのように・君はもっていったの? ・彼女を・承諾するように・これに。  
→ どのようにして、彼女にこれを承諾させたのですか?

**have** は「OがVする状況をもつ」という意味で、make や get のような強い働きかけがありません。相手がそれを行うのは職務・義務・習慣なので、それをさせるのに努力や苦勞を必要としない場合に用います。

③ I'll have him call you back as soon as possible.

Vt O C

- ⇒ 私はさせます・彼が・電話するように・あなたに・折り返し・できるだけすぐに。  
 → できるだけ早く彼に折り返しのお電話をさせます。  
 \* 「彼が折り返しの電話をする」のは職務上当然のことで、それを彼にさせるのに特別な努力は要りません。

let は「O が V するのを放っておく」という意味で、干渉せずにそれをさせる [させてやる] 場合に用います。許可を表す allow (Lesson 50 ②) とほぼ同じ意味です。

④ I'm never going to let you borrow my car again.

Vt O C

- ⇒ 私は決してつもりはない・させてやる・君が・借りるように・私の車を・再び。  
 → 君にはもう二度と車を貸してやらないからな。

⑤ "Let me pay the bill." "No, let's go Dutch."

Vt O C

- ⇒ 「させてください・私に・支払うことを・勘定を」「いいえ・しましょう・いくことに・割り勘で」  
 → 「私に支払わせてください」「いいえ、割り勘にしましょう」  
 \* 2番目の文の「Let's Vb」は「Let us Vb」の短縮形で、使役の let の慣用表現です。

●● VOCABULARY

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> <b>redo</b> [ri:dú:]                                | <b>動</b> …をやり直す (* re (再び) do (行う))   |
| <input type="checkbox"/> <b>report</b> [ri:pó:rt]                            | <b>名</b> 報告(書)、レポート、記事 <b>動</b> …を報告する  |
| <input type="checkbox"/> <b>agree</b> <b>to</b> <b>名詞</b> [əgri:]            | <b>動</b> <名詞>を受け入れる [承諾する]、<名詞>に同意する ( <b>動 agree with</b> … …と同じ意見だ)         |
| <input type="checkbox"/> <b>call</b> … <b>back</b>                           | <b>動</b> <人>に折り返し [後でまた] 電話をする  |
| <input type="checkbox"/> <b>as soon as possible</b><br>[sú:n, pásəbl   pás-] | <b>副</b> できるだけ早く、一刻も早く、至急 ( <b>同 ASAP</b> [éi:séipi:] [éi:sɛp] * メールでよく用いられる) |
| <input type="checkbox"/> <b>be going to Vb</b>                               | <b>動</b> Vするつもりだ、Vすることになっている  |
| <input type="checkbox"/> <b>borrow</b> [bárou   bór-]                        | <b>動</b> …を借りる (* lend (…を貸す) との混同に注意)  |
| <input type="checkbox"/> <b>bill</b> [bil]                                   | <b>名</b> 請求書、勘定(書)、法案、議案  |
| <input type="checkbox"/> <b>go Dutch</b> [dát]                               | <b>動</b> (食事代を人と) 割り勘にする  |

# Lesson 54

## 👍 第5文型：知覚動詞

知覚動詞 (hear, see, watch, feel など) の補語にも「動詞の原形」を置くことができます。その場合、その行為や出来事の「一部始終 (= 最初から最後まで)」を知覚することを意味します。hear を例に確認してみましょう。

① **I just heard you mention your thesis and I'm curious.**

Vt        O        C

- ⇒ 私は今さっき耳にした・あなたが・言及するのを・あなたの論文に・そして・私は興味がある。  
 → 今あなたがご自分の論文について話すのを耳にしたのですが、私も興味があります。

この文の話し手は相手が「言及する (mention)」の一部始終耳にしています。補語に置かれる「動詞の原形」は通常 (その一部始終を知覚せざるを得ないような) **瞬間的**もしくは**短時間**の行為や出来事を表します。他方、しばらく続く行為や出来事を**部分的・断片的**に知覚する場合は「動詞のing形」を用います。次の表は「知覚動詞と補語」の関係をまとめたものです。

|             | 補語 (C)      | 意味                      |
|-------------|-------------|-------------------------|
| hear + O +  | Vb          | OがVするのを (一部始終) 耳にする     |
|             | Ving        | OがVしているのを (部分的に) 耳にする   |
|             | Vp.p.       | OがVされるのを (一部始終) 耳にする    |
|             | being Vp.p. | OがVされているのを (部分的に) 耳にする  |
| see + O +   | Vb          | OがVするのを (一部始終) 目にする     |
|             | Ving        | OがVしているのを (部分的に) 目にする   |
|             | Vp.p.       | OがVされるのを (一部始終) 目にする *  |
|             | being Vp.p. | OがVされているのを (部分的に) 目にする  |
| watch + O + | Vb          | OがVするのを (一部始終) 見つめる     |
|             | Ving        | OがVしているのを (部分的に) 見つめる   |
|             | Vp.p.       | OがVされるのを (一部始終) 見つめる ** |
|             | being Vp.p. | OがVされているのを (部分的に) 見つめる  |

|            |                    |                      |
|------------|--------------------|----------------------|
| feel + O + | <b>Vb</b>          | OがVするのを(一部始終)感じる     |
|            | <b>Ving</b>        | OがVしているのを(部分的に)感じる   |
|            | <b>Vp.p.</b>       | OがVされるのを(一部始終)感じる ** |
|            | <b>being Vp.p.</b> | OがVされているのを(部分的に)感じる  |

(注)「\*」は比較的まれな用法。「\*\*」は特に覚える必要のないまれな用法です。

この表からわかるように、補語の「Vb」と「Vp.p.」は**一部始終**の知覚を表し、進行形の「Ving」と「being Vp.p.」は**部分的・断片的**な知覚を表します。

次は see と watch の例です。see は本人の意志に関係なく「目に入る」場合に用い、watch は意志を持って「(動くものを) 見つめる」場合に用います。

② The other day, I saw Pat and Mr. Lee get into a cab.

Vt                      O                      C

⇒ 先日・私は目にした・Pat と Lee さんが・乗り込むのを・タクシーの中に。

→ この間、Pat と Lee さんが一緒にタクシーに乗るところを見たよ。

③ "Watch me do a dive!" Ben shouted to Joe.

Vt                      O                      C

⇒ 「見ていて・僕が・するのを・飛び込みを」と Ben は叫んだ・Joe に。

→ 「飛び込むから見て！」と Ben は Joe に叫んだ。

最後は「体感する」という意味の feel です。

④ All of a sudden, Mr. Sato felt the house begin to shake.

Vt                      O                      C

⇒ 突然・Sato さんは感じた・家が・始めるのを・揺れることを。

→ 突然、Sato さんは家が揺れ始めたのを感じた。

これで、文型の説明は全て終了です。次の Chapter では、これまでに学習した文型の知識をもとに「受動態」の作り方を説明します。



●● VOCABULARY

- **just**
- **mention** [mɛnʃən]
- **thesis** [θiːsɪs]
- **curious** [kjʊəriəs]
- **the other day** [ði ɔðər]
- **get into** …
- **cab** [kæb]
- **dive** [daɪv]
- **shout** [ʃaʊt]
- **all of a sudden** [sʌdn]
- **begin to Vb** [bɪɡɪn]
- **shake** [ʃeɪk]
- 副 ついさっき、たった今 (同 **a short time ago**)
- 動 …に言及する [触れる]、…を口にする
- 名 (卒業や学位取得のための) 論文
- 形 興味がある、知りたがっている、興味をそそる
- 名 **curiosity** [kjʊəriəsəti] [-sɪ] 好奇心
- 副 先日、この間 (副 **the other night** 先日の夜)
- 動 …の中に入る、…に乗り込む (反 **get out of** …から出る、…から降りる \*「**get into** [get out of] …」は車のように体を折り曲げて乗る [降りる] 場合。バスや電車のように直立した姿勢で乗る [降りる] 場合は「**get on** [get off] …」を用いる)
- 名 タクシー (同 **taxi**)
- 名 飛び込み、ダイビング、急降下 動 飛び込む、ダイビングする
- 動 叫ぶ、大声を出す 名 叫び声、大声
- 副 突然、不意に (同 **suddenly**)
- 動 Vし始める (同 **start to Vb**)
- 動 震える、振動する、揺れる、…を振る、…を揺する

例文に登場する主なキャラクター (13)



Mr. Lee

アジアの大手家電メーカーのエリート社員。米国勤務時代に Pat と知り合い結婚。東南アジアへ転勤。

# Chapter 6

**単語・熟語数：158**

**文法のテーマ：受動態**

「誰々 [何々] が…する」という形を「能動態」と呼ぶのに対し、「誰々 [何々] が…される」という形を「受動態」（もしくは「受身」）と呼びます。受動態は Chapter 4 と 5 で学習した第 3 文型、第 4 文型、第 5 文型の「目的語」を文の主語にして言い換えたもので、主に「主語 + be 動詞 + 過去分詞」の形で表します。

第 4 文型と第 5 文型の受動態は「be 動詞 + 過去分詞」の後ろに「目的語」や「補語」が残るので、文構造の把握に注意が必要です。